

公民館事業に関する町計画等の令和4年度実績

① 寒川総合計画 2040 第1次計画(令和3～6年度)

【施策名】社会教育の振興

【施策目標】町民が地域で学び、その成果がひとづくり、つながりづくり、まちづくりにいかされている。

【具体的な取組_事務事業】公民館運営事業

施策の目標指標	基準値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
サークル等の社会教育関係団体利用人数	62,122人 (令和元年度実績)	目標値	64,000	65,000	66,000	67,100
		実績値	44,320	46,932		

推進における課題と今後の方向性

【令和3年度】

- 公民館のサークル等の利用人数が目標値の80%以上達成にはならないが、令和2年度よりは利用が回復傾向にある。長引くコロナ禍の影響により、地域コミュニティの弱体化が懸念されるが、公民館サークルについては自主的に発表会を行う団体もあるなど仲間と繋がろうという意欲は感じられる。サークル会員高齢化の課題もあり、公民館講座からサークル化を促す等、新しい団体の育成に取り組んでいく。

【令和4年度】

- 公民館のサークル活動は長引くコロナ禍の影響により、地域コミュニティの弱体化が懸念されるが、自主的に発表会を行う団体もあるなど仲間と繋がろうという意欲は感じられる。5月に各館で実施した「サークル入会体験フェスタ」ではサークル入会者が34人あり、昨年11月の同事業と比較し3倍の成果があった。サークル会員高齢化の課題もあり、公民館講座からサークル化を促す等、新しい団体の育成に取り組んでいく。7月にさむかわダンスフェスティバルを3年ぶりに実施し、8団体の参加と502人の来場者があった。発表者、鑑賞者ともにイベント再開への期待感が感じられる。
- 公民館のサークル等の利用人数の実績は目標の72.2%となった。目標には達しないが、前年度より増加し、回復傾向にある。公民館利用者の会登録団体数については、前年度181団体から171団体と約5%の減少となった。会員が高齢者で人数が少ない団体の解散による減と、公民館講座を契機とした新サークル結成による増が同じようなペースで数字上は登録団体数が維持されている。今後は既存サークルへの加入支援として年2回の「サークル入会体験フェスタ」の推進と、公民館講座等をきっかけとした新規サークル結成の支援を両輪で推進する必要がある。

② 第2次寒川町教育振興基本計画 前期実施計画(令和3～6年度)

【基本目標】《社会教育》町民が地域で学び、その成果がひとづくり、つながりづくり、まちづくりに生かされている

【主な施策】公民館活動の充実

【事業名】公民館運営事業

【事業目標】・講座等に参加することで、地域活動への関心を持つ町民が増えている。

・地域の学習活動に参加することにより、子どもの成長に関する知識や体験が増えている。

事業の目標指標	基準値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公民館講座等の参加者数	15,239人 (令和元年度実績)	目標値	15,750人	16,000人	16,250人	16,500人
		実績値	5,741人	16,713人		
親子・子ども対象事業の参加者数	4,137人 (令和元年度実績)	目標値	4,200人	4,300人	4,400人	4,500人
		実績値	2,520人	3,628人		